

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

高井 正

1. 授業の概要(ねらい)

この講座は、①財政に関する文献の輪読、②財政の諸課題をテーマとする学生自らの手による資料収集・レジュメの作成・ゼミでの発表・討論、などを通して財政問題に対する分析能力を高めるとともに、卒業後の社会生活におけるプレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。

この講座は、財政学の視点から現代財政の諸課題について考察する演習である。

2. 授業の到達目標

- ・学生が、プレゼンテーション・討論を通じて、仕事で必要不可欠な「資料作成力」「プレゼン力」「ディスカッション力」を修得する。
- ・学生が、現代社会における財政の役割を説明できる。
- ・学生が、現代財政が抱える「財政課題」を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・発表時のレジュメ・プレゼン内容(10%)、討論時の討論内容(10%)と期末課題レポートの内容(80%)などを踏まえて総合的に評価する。
 - ・期末課題レポートは、「テキスト」から出題する。
- ※出席率が2/3未満のゼミ生は、元々「成績評価の対象外」であるので仮に期末課題レポートを提出したとしても「不合格」とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

神野直彦 『財政のしくみがわかる本』、2007年 岩波書店

5. 準備学修の内容

- ・発表担当時における担当部分のレジュメと読み原稿の作成
- ・討論担当時における担当部分の質問文と正答文の作成
- ・担当外の場合は、毎回のゼミで指定する「次回のテキスト範囲」を事前に読み、不明点・専門用語の意味等を必ず理解しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・発表、討論、期末課題レポートの3つがそろって「合格」の最低基準であるので注意すること。
- ・発表および討論の担当時にやむを得ず病欠する場合は必ず事前に連絡すること。
- ・3年次の選択科目として配当されている「財政政策論Ⅰ・Ⅱ」の講義を履修することが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:ゼミ生による自己紹介および本ゼミの概要説明
- 【第2回】 論文・レポート・レジュメの違いとそれぞれの作成方法
- 【第3回】 各回の発表・討論担当の決定およびレジュメの作成
- 【第4回】 経済史にもとづく経済学の主要な論点と財政の関係
- 【第5回】 テキスト第1章(財政の意義)の発表・討論
- 【第6回】 テキスト第2章(予算論)の発表・討論
- 【第7回】 テキスト第3章(租税論①:直接税・間接税)の発表・討論
- 【第8回】 テキスト第3章(租税論②:付加価値税・固定資産税)の発表・討論
- 【第9回】 テキスト第4章(歳出論)の発表・討論
- 【第10回】 テキスト第5章(公債論)の発表・討論
- 【第11回】 テキスト第6章(中央・地方政府間財政関係)の発表・討論
- 【第12回】 テキスト第7章(現代財政の課題)の発表・討論
- 【第13回】 テキスト第8章(財政の未来像)の発表・討論
- 【第14回】 前期の総括(フィードバック)と期末課題レポートの出題&提出<オンライン授業>
- 【第15回】 期末課題レポートの評価・講評